

令和6年度 公益財団法人大分県スポーツ協会 第3回理事会

日時：令和7年1月17日（金）10時30分～

場所：大分県庁本館2階 「正庁ホール」

理事

出席者 麻生 益直 山田 雅文 相馬 尊重 佐保 宏二 宮成 康蔵
(24名) 石川 明德 板井 靖之 伊東 剛 衛藤 幸司 衛藤 賢
大久保邦彦 大場 俊二 岐部 俊哉 佐藤 彰倫 末吉 新治
荷宮 利孝 羽田野明美 藤原 直也 牧 和志 三浦 誠二
御沓 稔弘 森田 美穂 山田 美樹 柚木 徹

欠席者 栗田 泰司 内海 秀昭 加藤 寛章 河村 美香 豊田 正順
(6名) 村田 潤

監事

出席者 黒木 宏一 羽田野昭人
(2名)

欠席者 穴井 哲也
(1名)

議事録作成者 専務理事 佐保 宏二

資格確認 押田総務部長が出席理事24名で、定数の過半数であることから、本会定款第36条により、本会が成立することを報告した。

1 開会のことば

押田総務部長が開会のことばを述べた。

2 あいさつ

公益財団法人大分県スポーツ協会麻生会長が、あいさつを述べた。以下あいさつ文。

明けましておめでとうございます。皆様いかがお過ごしだったでしょうか。昨年を思い返しますと、能登半島地震や飛行機事故などがあり、大変な幕開けでした。今年は、大きな事件や事故もなく新年を迎えております。県内ではインフルエンザが大流行しており、私も年始に罹ってしまいましたが、理事会までには元気になりました。今年も頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日は、第3回理事会を開催いたしましたところ、皆様方には何かと御多用の中、御出席をいただき、誠にありがとうございます。また、平素から、本会の諸事業の推進並びに本県のスポーツ振興に格別の御支援・御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、御案内のとおり、昨年、佐賀県で開催されました第78回国民スポーツ大会での「チーム大分」は、天皇杯得点893.5点、天皇杯順位第29位と、大変悔しい結果となりました。6競技6種目で優勝、20競技69種目で入賞を果たしましたが、「あと1歩」という競技が非常に多かったように思います。国スポ終了後の11月に開催しました「国スポカンファレ

ンス」では、成果と課題を「チーム大分」全体で共有し、本年の滋賀国スポでの目標達成に向け、一層の競技力向上を確認したところであります。

その滋賀国スポに向けた戦いですが、早速、1月27日から、第79回国民スポーツ大会冬季大会が始まります。冬季競技は、厳しい練習環境の中での出場となりますが、「チーム大分」の先陣として、力を出し切る熱い戦いを期待しています。

また、今年度も残り2ヶ月半となりましたが、本会では、2月11日の「大分県スポーツ少年団駅伝交流大会」や、3月28日からの「全国スポーツ少年団剣道交流大会」の開催を控えており、まだまだ大きな事業が残っております。引き続き、円滑な運営に努めて参りますので、皆様方の御協力をお願いいたします。

本日の理事会は、令和6年度の補正予算やスポーツ協会表彰などが主な議案となっております。限られた時間ではありますが、十分な御審議をいただき、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくをお願いいたします。

3 議長選出

以下、進行より、議長及び議事録署名について説明がなされた。

理事会規程第6条では、「理事会の議長は会長がこれにあたる」となっておりますので、麻生会長に議長をお願いいたします。

また、議事録署名については、定款37条に「出席した代表理事及び監事は、議事録に記名押印する」となっておりますので、その旨よろしくをお願いいたします。

以下、議長による進行。

4 報告事項

以下の報告事項について、宮成常務理事兼事務局長より説明がなされた。

- (1) 第78回国民スポーツ大会大分県代表団について
- (2) 第78回国民スポーツ大会成績について
- (3) 第44回九州ブロック大会冬季大会大分県代表団について
- (4) 第44回九州ブロック大会冬季大会成績について
- (5) 第79回国民スポーツ大会冬季大会大分県代表団について
- (6) 全国表彰受賞者について
- (7) 各種大会成績について（令和6年度第2回理事会以降）
- (8) 寄附金受入に伴う感謝状贈呈について

【(1) 第78回国民スポーツ大会大分県代表団について】

【(2) 第78回国民スポーツ大会成績について】

それでは、(1) 第78回国民スポーツ大会大分県代表団について、(2) 第78回国民スポーツ大会成績について、関連がございますので一括して御報告いたします。

レジュメの1ページを御覧ください。佐賀県で開催されました国民スポーツ大会の大分県代表団役員については、麻生益直団長、山田雅文副団長、佐保宏二総監督の他、総務員17名、総勢20名でございました。

2ページをお開きください。参加人数一覧表には、各競技の監督・選手の参加人数を記載しております。表の右下にございますが、総勢464名の参加でございました。各競技の参加者名簿

を2ページから7ページまで記載しておりますので、詳細については、後刻御覧ください。なお参加者名簿については、申込時点の名簿でございます。申込後に変更のあったものについては、8ページの選手及び監督の交代一覧に記載しておりますことを申し添えます。

以上が第78回国民スポーツ大会大分県代表団についてでございます。

次に、(2)第78回国民スポーツ大会成績について御報告いたします。冬季大会が北海道と山形県で、本大会が佐賀県で開催されました。本県の総合成績は、天皇杯得点893.5点、総合順位は29位でございました。「チーム大分」の目標でありました天皇杯得点1000点に届かず、2年連続の目標達成は叶いませんでした。

次に、2の都道府県総合成績を御覧ください。総合優勝は、昨年に続き開催県ではなく、東京都でございました。上位10県には、埼玉県、大阪府、愛知県、神奈川県など、人口順位10位以内の府県が位置している状況です。

次に、3の九州各県総合成績比較を御覧ください。本県は表にあります通り、開催県の佐賀県、一桁順位常連の福岡県、前年国体を開催した鹿児島県と熊本県に次ぐ、九州第5位の成績でございました。

10ページをお開き下さい。優勝一覧でございます。上段、団体競技では、記載の2競技2種目で優勝しました。フェンシング成年男子が3大会連続の優勝、ボウリング競技の成年男子団体が初優勝いたしました。その下、個人の優勝一覧でございます。記載の4競技4種目で優勝しました。自転車競技成年男子の沢田選手が初優勝、馬術競技成年女子の野上選手が初優勝、ライフル射撃競技八川、野畑ペアのMIX成年で初優勝、空手道競技成年男子の西山選手は、形で4大会連続優勝という快挙を成し遂げました。

以上、団体、個人競技をあわせた6競技6種目での優勝でございました。11ページには入賞者一覧、12ページから26ページにかけては、大分県選手団の全成績となっております。詳細につきましては、後刻御覧下さい。

今大会は非常に厳しい結果となりました。国スポ終了後には、県競技力向上対策本部と合同で結果分析及び次年度に向けた競技力向上対策を協議しました。また、11月には競技団体強化責任者とのヒアリングを実施したところでございます。現在、県外遠征や強化合宿、そしてスポーツ医学の更なる活用、指導者育成等、出来る限りの対策に取り組んでいる所でございます。今一度、次年度の滋賀国スポで1000点獲得に挑戦できるよう準備したいと思っております。

第78回国民スポーツ大会成績については、以上でございます。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

羽田野理事

国スポの結果・分析をカンファレンス等で行ったと聞いたが、具体的に教えて欲しい。

宮成常務理事兼事務局長

結果の分析については、様々な要因がありますが、大きく2点あると分析しています。

1点目は、ベスト16とベスト8が決まる試合に、11戦で負けていることです。仮に、この11戦全てに勝利した場合、100点程度の上乗せができる可能性があったと考えております。合計しても1000点には届きませんが、それに匹敵する力はあったと考えています。

2点目は、50点以上の高得点競技がなかったことです。5競技で50点以上を目指していましたが、実際は0競技でした。この高得点競技の育成が我々の弱点であると考えています。県内に強豪の実業団・大学は少ないですが、強化を更に進めていきたいと思っております。

次年度の見通しとしては、厳しい戦いになることが予想されますが、目標達成に向けて最大限の努力をしていきたいと思っております。

麻生会長

私も現地で激励しましたが、本当にあと一步の瞬間を何度も見ました。特に、先ほど説明のあった高得点競技でした。高得点競技の育成が上手く出来ていないとかではなく、皆さんの御指導やチーム大分の団結力を高めれば来年はきっと目標に届くと思います。

山田副会長

国スポの見直し案について報道されていました。トップアスリートの参加を促すために開催時期の調整などが出ていると聞いたが、もし、そうなった場合のチーム大分への影響などを教えてください。

宮成常務理事兼事務局長

通年開催について有識者会議で検討していると認識しております。例年は、短期集中型で一定期間ふるさと選手や高校生などが一緒に国スポに向けて闘争心を燃やして戦っています。これがチーム大分の強みであり、伝統だと選手たちにも伝えていきます。通年開催が現実となれば、この伝統を継承していくことが課題だと感じています。大会の持続性などを加味すると、通年開催になっても仕方ないと考えています。

《その後、質疑無し》

【(3) 第44回九州ブロック大会冬季大会大分県代表团について】

【(4) 第44回九州ブロック大会冬季大会成績について】

(3) 第44回九州ブロック大会冬季大会大分県代表团についてと、(4) 第44回九州ブロック大会冬季大会成績については関連がございますので、一括して御報告いたします。

レジュメ27ページを御覧ください。第44回九州ブロック大会冬季大会アイスホッケー競技では、井原団長をはじめ、本部役員3名、他総務員2名、監督選手21名で出場いたしました。詳細については記載の通りでございます。

28ページをお開きください。第44回九州ブロック大会冬季大会アイスホッケー競技の成績についてです。アイスホッケーは、AB2つのリーグに分かれてのリンク戦形式で実施されました。大分県成年男子の試合結果は赤字で囲っております。1日目は、鹿児島県と対戦し1-9で敗戦。2日目は熊本県と対戦し、0-8で敗れ、0勝2敗という結果でございました。最終的な総合順位は7位で、代表権獲得には至りませんでした。

なお、29ページには九州各県の代表権獲得一覧を記載しております。詳細については後刻御覧ください。

以上でございます。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

【(5) 第79回国民スポーツ大会冬季大会大分県代表团について】

レジュメ30ページを御覧ください。先程、昨年の佐賀国スポの成績を御報告したばかりですが、今月末からは、第79回国民スポーツ大会冬季大会が開催されます。スケート競技は岡山県で、スキー競技は秋田県で開催されます。本県代表团ですが、本部役員は、県スキー連盟玉田会長が団長、以下、副団長2名、総監督に佐保専務理事、他総務員2名の6名で編成いたします。

選手団は、スケート競技が監督1名、選手1名で、スキー競技が監督3名、選手14名で編成いたしました。なお、本日15時から、大分県代表団の結団壮行式を行うこととしております。
以上でございます。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

麻生会長

本理事会にスキー連盟の山田理事がいるので意気込みをお願いします。

山田理事

スキー競技は決して強いわけではありませんが、厳しい練習環境の中で一生懸命頑張っています。今年は雪の心配もなさそうなので、怪我なく良い滑りをしたいと思います。

《その後、質疑無し》

【(6) 全国表彰受賞者について】

レジュメ31ページを御覧ください。

まず、文部科学大臣表彰は、長年にわたり、体育・スポーツの振興・発展に功績があった個人・団体を表彰するものです。生涯スポーツ功労者として、松元義人様、諸田義信様の2名が、生涯スポーツ優良団体として記載の4団体が表彰されました。

次に、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰は、資格取得後15年以上にわたり、スポーツの普及・振興及び指導者育成等に尽力し、顕著な功績をあげた方々に対する表彰です。指導者の部として、相浦広子様、石橋紀公子様、相原昇様、スポーツドクターの部として、宮崎美樹様が表彰されました。

最後に、日本スポーツ少年団顕彰は、長年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある登録指導者等及び市区町村スポーツ少年団に対する顕彰です。表彰指導者として、政岡浩様、表彰団として、日田市スポーツ少年団の1団体が表彰されております。

改めて、全国表彰を受賞されました皆さまにお慶びを申し上げますとともに、今後益々の御活躍を御祈念いたします。

以上でございます。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

【(7) 各種大会成績について（令和6年度第2回理事会以降）】

レジュメ32ページから34ページになります。32ページ上段に記載のとおり、8月19日から1月6日までの期間において、全国大会・国際大会ベスト8以上の成果をあげた本県関係者の記録を掲載しております。なお、国民スポーツ大会については、別途報告をしておりますので、記載はございません。本県の選手が、多くの大会で優勝入賞の活躍をしております。詳細については割愛いたしますが、引き続き、本県関係者の活躍を期待したいと思います。

以上でございます。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

【(8) 寄附金受入に伴う感謝状贈呈について】

まずは、レジュメ35ページ下段記載の、参考を御覧ください。表彰規程の第6条で、「本会の運営並びに事業の推進に功績のあった個人及び団体に感謝状を贈ることができる」とございます。今回、感謝状贈呈に関する内規の下線部分(2) 本会に対して一定額を超える額を寄附した団体がありましたので、内規に基づき理事会で報告をするものです。

上段に戻りまして、(1) 一般財団法人青少年交流振興協会様です。寄附額は20万円でございます。同協会は、元城島高原ゴルフクラブ所属のプロゴルファーである鈴木規夫様が理事長を務めており、毎年、御寄附をいただいております。概要については、記載しておりますので御覧ください。本年は、11月9日に「第22回エンジョイゴルフin大分」が、別府市の城島高原ゴルフクラブで開催され、その益金の一部を御寄附いただきました。前日の夕食会の中で開催された寄附金贈呈式に佐保専務理事が出席し、寄附金を受け取ると共に、感謝状を贈呈いたしました。

次に(2) 明治安田生命保険相互株式会社大分支社様です。寄附額は81万9千700円で、「私の地元応援募金」として従業員の皆様からの募金と、会社様からの拠出を上乗せして行う募金となっております。本日、本理事会終了後に寄附金贈呈式を行うと共に、麻生会長より感謝状の贈呈を行う予定です。

以上でございます。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

5 議事

以下の議案について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

議案1 令和6年度補正予算について

議案2 令和6年度大分県スポーツ協会表彰について

議案3 評議員会の開催について(3月の臨時評議員会)

【議案1 令和6年度補正予算について】

それでは、令和6年度補正予算(案)について御説明いたします。レジュメ36ページからになります。

本会の会計は、公益法人会計として、大分県スポーツ振興事業、大分県スポーツ少年団事業、大分県スポーツ普及・表彰事業の3事業の会計と、事務局運営に係る法人会計の4会計からなっています。それぞれの会計ごとの補正予算(案)は、37ページから40ページにかけて詳細を記載していますが、わかりやすくするために、A3概要版縦を使って説明させていただきます。恐れ入りますが、レジュメの方向を変えていただきまして御覧ください。

表の両端の小さな数字は行数を示しています。補正額の欄の△は、当初予算からのマイナスを示しています。この補正については、例年12月までの実施事業を踏まえ、予算を補正するものでございます。

まず、2行目から47行目に記載している経常収益、いわゆる収入ですが、大科目で説明いたします。3行目特定資産運用益の補正はございません。4行目受取会費は、当初予算から141万5千円増の1717万4千円です。これは9行目受取賛助会員費の増によるものです。10行目事業収益は、当初予算から51万8千円減の1270万4千円です。これは各種事業の見込

み参加者数の減少によるものです。28行目受取補助金等は、当初予算から53万5千円減の、2億667万8千円です。これは主に37行目受取民間助成金、いわゆるスポーツ振興くじ、t o t o助成金の減によるものです。38行目受取寄付金は、当初予算から15万2千円減の、657万1千円でございます。以上の金額を合計したものが、47行目の経常収益計で、当初予算3億351万4千円から、26万7千円増の、3億378万1千円となります。

次に48行目からの経常費用、いわゆる支出の部でございます。支出は、公益目的事業ごとにまとめておりますので、それぞれ事業毎に説明いたします。49行目①大分県スポーツ振興事業では補正はございません。次に、53行目②大分県スポーツ少年団事業です。当初予算から、98万9千円増の、949万5千円です。これは主に、54行目の大会費に含まれている全国スポーツ少年団剣道交流大会開催に係る経費の増でございます。当初は本会からの支出が150万円と想定しておりましたが、バス代、宿泊代等諸々の物価高騰により、250万円程度必要と修正し、本会が支出するものでございます。次に、60行目③大分県スポーツ普及・表彰事業です。当初予算から、21万円増の797万円です。これは主に66行目、表彰費の賞状及び楯等の物価高騰によるものでございます。67行目、上記3事業の事業管理費でございますが、50万5千円の減、69行目④法人会計・管理費も、44万3千円の減でございます。事業管理費・管理費については、業務の効率化等に取り組み、超過勤務手当や通信運搬費等を減らすことができました。70行目、経常費用計は、当初予算から、25万1千円増の、3億675万4千円でございます。

76行目の当期経常増減額ですが、当初予算から1万6千円を補正し、現時点での補正後予算額が、297万3千円の赤字の見通しとなっております。赤字については、第1回理事会でも御説明した通り、公益法人の収支相償の観点から、これまでの利益を内部に留めず、公益目的事業に充てているものでございます。特に今年度は、全国スポーツ少年団剣道交流大会が本県開催であることから、赤字額が大きくなっている状況でございます。

以上で令和6年度補正予算（案）の説明を終わります。

御審議の程、よろしくお願いいたします。

《麻生議長が、上記のことについて、議場に質疑を求めた》

牧理事

第47回日本スポーツ少年団全国剣道交流大会において、赤字が出ているということで、私からもお願いいたします。スポーツ少年団の全国大会は、団員相互の交流を深めるため、全国各県のローテーションで、剣道、バレーボール、軟式野球の3競技が行われています。本県では、平成30年度にバレーボール交流大会が行われ、試合をしている近県のチームが声援を送るなど、大変な盛り上がりを見せました。子どもたち同士の交流が図られ、大変良い大会となっております。今年度も素晴らしい大会となるよう、補正予算の承認をお願いします。

《麻生議長が、上記のことについて、承認を議場に求めた》

《全会一致で承認された》

【議案2 令和6年度大分県スポーツ協会表彰について】

それでは、令和6年度大分県スポーツ協会表彰について、御説明いたします。レジュメは41ページからとなります。記載の通り、4つの表彰区分で表彰者を選定しております。なお、表彰規程については、56ページから59ページに掲載させていただいておりますので、御確認ください。規程に基づき、加盟団体等に推薦依頼を行うとともに、事務局において、対象者の選定を

実施した結果を御説明します。

42ページをお開きください。スポーツ功労賞の受賞候補者です。この賞は、各分野での長年の功績を讃えるものです。(1)加盟競技団体推薦の4名、(2)地域体育・スポーツ協会推薦の3名と1団体、(3)スポーツ医科学委員会関係団体推薦の3名でございます。候補者の氏名や推薦理由は、記載の通りでございます。全ての候補者が受賞資格を満たしており、スポーツ功労賞の受賞者として提案いたします。

次に、43ページを御覧ください。スポーツ優秀賞の受賞候補者です。(1)選手部門は、全国的大会での優勝、国際大会への日本代表としての出場、日本記録を更新した選手・チームが対象です。記載の通り、競技団体から28の個人・団体の推薦がございました。44ページをお開きください。(2)指導者部門は、本県在住で本県に活動拠点があり、活動実績を5年以上有している者の中から、全国的大会での優勝や継続して全国トップレベルの成績をあげた指導者が対象となります。本年は、記載の5名の指導者が対象となります。(3)競技団体部門は、国民スポーツ大会で競技別総合順位3位以内の成績を収めた競技団体が対象です。今回は記載の通り、大分県アーチェリー協会が国民スポーツ大会競技別総合成績第2位となり対象となります。

以上、スポーツ優秀賞の3部門の全ての候補者が、受賞資格を満たしており、スポーツ優秀賞の受賞者として提案いたします。

次に、45ページから55ページに記載しております、スポーツ奨励賞の受賞候補者です。この賞は、中学生は全国中学校体育大会、高校生は全国高等学校総合体育大会で8位以内に入賞した生徒が対象です。45ページを御覧ください。上段は、大分県中学校体育連盟からの推薦により受賞した学校別の人数一覧でございます。今回、推薦されたのは71名でございます。46ページから48ページに詳細を記載しております。45ページ中段は、大分県高等学校体育連盟からの推薦により受賞した学校別の人数一覧でございます。今回、推薦されたのは128名でございます。49ページから54ページに詳細を記載しております。45ページ下段は、大分県高等学校野球連盟からの推薦により受賞した学校でございます。今回、推薦されたのは18名でございます。55ページに詳細を記載しております。いずれも、大会記録と照合し、全て基準をクリアしておりますので、全ての候補者を、スポーツ奨励賞の受賞者として提案します。

次に、44ページにお戻りください。特別表彰についてです。(1)の国際大会特別賞は、日本代表として国際大会に出場し、メダルを獲得した選手及び指導者を対象としております。記載の2名が対象でございます。(2)の国民スポーツ大会特別賞は、平成21年度以降の国民スポーツ大会において、3大会以上での優勝、10大会以上での入賞が受賞資格となります。今回、事務局で過去の記録を確認したところ、記載の2名が該当しておりました。次に(3)会長特別賞については、該当者なしでございます。

以上を今年度の大分県スポーツ協会表彰として御提案いたします。

御審議の程、よろしく願いいたします。

なお、役員の皆様には、2月19日(水)15時から、レンブラントホテル大分にて開催されます、スポーツ協会表彰式の御案内をお送りしております。御都合がございましたら是非御出席をお願いいたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《麻生議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

【議案3 評議員会の開催について（3月の臨時評議員会）】

それでは、評議員会の開催について御説明いたします。レジュメは60ページになります。

まず、評議員会の開催に係る規定について御説明いたします。中段に記載のとおり、本会定款第20条で、「評議員会は定時評議員会及び臨時評議員会の2種とする」とあります。臨時評議員会は、毎事業年度終了前2箇月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。併せて、第21条「評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。」となっております。この定款の規定に基づき、評議員会の開催については、理事会の決議が必要となるものです。

上段の（1）～（3）に記載のとおり、評議員会を開催することについて御提案申し上げます。御審議の程、よろしくお願いいたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《麻生議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

6 その他

以下の内容について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

（1）令和6年度賛助会加入状況について

レジュメ61ページをお開きください。令和6年度賛助会加入状況についてです。

1月7日時点で、賛助会費合計843万5千円で、昨年度比141万5千円の増でございます。増額の要因でございますが、昨年策定した中期経営計画に基づき、パートナー会員制度を導入した成果が大きな要因でございます。下段に平成30年からの賛助会加入状況を記載しておりますが、平成30年と比較しますと、約2倍の賛助会費となりました。本会の厳しい財政状況を考えますと、引き続き賛助会員の新規獲得に取り組み、中期経営計画でお示した、令和9年度に1000万円を目指して取り組んで参ります。

また、裏表紙には、50万円以上のプラチナパートナー会員、20万円以上のゴールドパートナー会員、10万円以上のオフィシャルパートナー会員を掲載しております。理事の皆様にも、賛助会の加入をお願いするとともに、賛助会の拡充に向けて、引き続き御協力をお願いいたします。

その他の説明は、以上でございます。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《麻生議長が、その他質疑を求めた》

森田理事

第1回理事会の際に、重点的取組として、N o スポハラを掲げていましたが、その後の状況を教えて下さい。

宮成常務理事兼事務局長

今年度の重点的取組に掲げているが、何件か相談等を受けています。昨年度10件相談がありましたが、今年度は6件となっています。公認スポーツ指導者の更新研修では、N o スポハラを題材にした研修にしました。また、福田事業部長が市町村の研修会に出向き、N o スポハラをアピールしています。引き続き周知していきたいと思えます。

《その後、質疑無し》

7 閉会のことば

押田総務部長が閉会のことばを述べた。

令和7年1月17日

会 長 麻生 益直

副会長 山田 雅文

監 事 黒木 宏一

監 事 羽田野昭人